

第 236 回
定例探鳥会

日時：2006 年 8 月 13 日 (日) 天候：曇
コース：高来神社 化粧坂 水道山 楊谷寺谷戸横穴群

またまた雨かと思われましたが、どうやら 4 ヶ月ぶりに雨天は免れたようです。それでもすっきりとした青空は見え、空は雲に覆われています。

集合時間前の 7 時頃から、高麗山の上空をアオバトが飛び始めました。7 時 30 分までの 30 分間に 62 羽が観察されました。一番大きな群れは 23 羽でした。はっきり海の方へ向かったと思われるものは 3 羽で、あとは高麗山の上空を東 西方向へ飛び去りました。雨や曇りの日が続いていたのできょうは照ヶ崎への飛来数が多そうです。

蒸し暑さと蚊の襲来を避けるため、また先月観察したサンコウチョウも気になるため、今回も高麗山を外側から眺めるコースにしました。化粧坂付近でムクドリのような鳥の群れが飛び姿が見られました。最近コムクドリが多数観察されているので、「もしかしたら」とケヤキにとまった鳥に注目しましたが、普通のムクドリでした。水道山へ向かう途中ではセンニンソウが咲き始めていました。水道山を過ぎて湘南平の鉄塔が見渡せるところで、飛来するアオバトを待つことにしました。そこからは一本の枯れ木がよく見えます。このあたりはアオバトの飛行コースになっているためか、オオタカが待ち伏せのためにとまっているのがよく見られる木です。今日もそこに 1 羽のタカがとまっていました。オオタカにしては白っぽくて大きいように見えます。望遠鏡でミサゴであることが確認できました。羽づくろいをしたり伸びをしたりして落ち着いた様子で、全員が望遠鏡でしっかりと観察することができました。30 分近くとまっていたが、ふわりと飛び立ち森の中に消えました。珍しいミサゴの出現のおかげでアオバトの数の記録を忘れてしまいましたが、上空を飛んだ数はそんなには多くなかったようです。先月サンコウチョウを見たところでもしばらく立ち止まってみましたが、声も聞こえずまったく気配を感じられませんでした。無事に巣立ってどこかへ飛び去ったのでしょうか？

サンコウチョウには会えませんでした、ミサゴを十分に堪能でき皆さん満足されたようでした。

参加者

参加人数 18 名 (敬称略)

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 下倉 紘一 | 2. 鈴木 逸子 | 3. 朝倉 輝美 | 4. 古尾谷 七郎 | 5. 霜島 進 |
| 6. 茂木 一男 | 7. 橋本 睦美 | 8. 葉丸 薫 | 9. 鈴木 昭夫 | 10. 森田 義雄 |
| 11. 片倉 暹 | 12. 八木 正 | 13. 国友 昭男 | 14. 松下 弓子 | 15. 清水 哲子 |
| 16. (田端 裕) | 17.(内山 規矩雄) | 18. (岩佐 昌夫) | | |

見聞きした鳥

種類数 18 種 (sp を含む)

- | | | | | |
|----------|-------------|-------------|----------|----------|
| 1. ミサゴ | 2. トビ | 3. キジバト | 4. アオバト | 5. ドバト |
| 6. コゲラ | 7. アオゲラ | 8. ツバメ | 9. イワツバメ | 10. ヒヨドリ |
| 11. ウグイス | 12. シジュウカラ | 13. ヤマガラ | 14. メジロ | 15. スズメ |
| 16. ムクドリ | 17. ハシボソガラス | 18. ハシブトガラス | | |

企画展「アオバトのふしぎ」～ 感想文から

大磯郷土資料館のアオバトのふしぎ展には 4600 名を越える来館者がありました。大勢の方から感想文をいただきましたので、そのごく一部をご紹介します。

- ◇ アオバトについて以前から大変興味を持っていました。照ヶ崎で見かけ、その美しさに感動したりしていました。サンダースホームの隣にあるステパノ学園に勤めていますが、子供達にも是非アオバトについて知ってほしいと思います。観察会ができればありがたいです。(大磯町外)
- ◇ アオバトをモチーフに素晴らしい作品、興味深い研究、楽しく拝見いたしました。来る前に照ヶ崎海岸でアオバトを見てきました。110 羽程度の群れだったので、大きい群れだと思っていたのですが、展示の瞬間最大数により 100 羽以上はあまりないようなので、やはり大きい群れだったのだと解り、何だかスッキリしました。(大和市)
- ◇ 3 年位前に 1 度アオバトを観に行ったことがあります。学名がシーボルトのハトというのは初めて知りました。近くなので、また照ヶ崎に行ってみようと思います。パンフレットの見られる時期・時刻などの表は、実際観察したデータが基になっていて、おもしろいと思います。10 年以上たった今もアオバトの数は減っていないのかな。いつまでもアオバトが飛んでくる海でありますように。(平塚市)
- ◇ アオバトの企画は大変分かり易くできており、大変参考になりました。日頃のご苦労・ご努力が感じられ敬意を評します。今後もアオバトの環境維持を大切に共存して、未来に託していただけるようお願いします。(愛知県尾張旭市)
- ◇ まずこの企画に厚く御礼を申し上げます。大磯に住むようになり、アオバトの話をよく聞きます。この企画は興味深く見ることができました。こまたんメンバーの方々のアオバトに向ける熱意が伝わってきます。アオバトが海水を飲みに来るこの大磯の自然がいつまでも続いてほしいと願っております。人間が破壊することがないように祈ります。(大磯町)
- ◇ 長年に亘ってさまざまな角度からアオバトを研究され、少しずつ解ってきていることがよくわかりました。全国規模になってきて、謎が分かる日が来ることを期待しています。また、科学的な部分だけでなく民族的なことも展示されていたのがよかったです。ただ、アオバトの声がずーっと流れているのはきつかった。(茅ヶ崎市)
- ◇ アオバトの長期間の研究ご苦労様です。大磯港に特徴あるアオバトの研究を、是非、大磯小、中、高の子供の教材に生かさせていただきたい(分かりやすく)。我々の郷土の誇りとして、他の市町の人々に自信を持って、アオバトのよさを伝えることができよう。自然の大切さ、命の尊さを保つ大磯町でありますように。(大磯町)
- ◇ こまたんの皆様の熱心な研究で、ここまでアオバトの生態が分かり素晴らしいと思いました。しかも楽しみながらをモットーに……。美しいアオバトがこの大磯の海にいつまでも訪れることを願いつつ、これからの皆様の更なる研究を熱望いたします。(大磯町)
- ◇ 大井町のいこいの村や我が家の裏山で聴こえたふしぎな音がアオバトの鳴き声だったと分かり、長年の謎が解けてスッキリしました。とてもいとおしいです。(小田原市)

巻島さんの絵画が大磯町役場ロビーに

「アオバトのふしぎ」展の目玉だった巻島克之さんの大作『照ヶ崎のアオバトたち』が大磯町役場の一階ロビーに飾られることになりました。大磯町に贈呈されたこの絵画の行く末が心配されていたのですが、これからも大勢の方の目に触れるところに展示されることになりました。大磯町にとっても大変貴重な財産だと思しますので、有効に活用されることになり感謝したいですね。



しみかつでも「アオバト展」

大磯町郷土資料館の「アオバトのふしぎ」展の展示物の一部を平塚でも展示しています。

「アオバトとは?」「なぜ海水を飲むの?」がメインテーマです。

ひらつか市民活動センター(こまたんでの愛称:しみかつ)の壁面の中心に照ヶ崎の岩場に飛来するアオバトの群れの特大写真が飾られています。郷土資料館では見られなかった幅3mの照ヶ崎の大パノラマ写真は初公開です。照ヶ崎の堤防から360度の視界で見た光景が一枚のパノラマ写真に収められています(アオバトファンは必見!)。2枚の大きな写真は迫力満点です。郷土資料館の展示を見逃した方だけでなく、アオバトのふしぎ展を楽しんでくださった方にも見ていただきたいと思います。



期 日 : 8月26日(土) ~ 9月23日(土)...9/23は午前中で撤去の予定です

場 所 : ひらつか市民活動センター(平塚駅南口 JAビル 2階)

時 間 : 午前9時 ~ 午後10時

【お知らせ】

照ヶ崎アオバト観察会

アオバト観察会を行います。開催時間中の都合の良い時間にお出かけください。こまたんメンバーが望遠鏡を据え付けて待っていますので、特に必要な道具はありません。砂浜は日を遮る場所がありませんので帽子と飲み物はお忘れなく。

日 時 : 9月24日(日) 午前6時から9時頃まで

場 所 : 大磯町照ヶ崎海岸(大磯漁港西側の堤防の下)

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2006年10月7日(第1土曜日)

鷹取山 2006年10月14日(第2土曜日)

午前6時に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または6時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守でお願いします。午前中に解散。雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

照ヶ崎海岸のアオバト飛来状況

日付	天気	観察時間		飛来回数	飛来数		幼鳥 (幼鳥数/ 観察数)
		開始	終了		合計	瞬間最大	
8/1		6:00	10:00	53	823	61+	9/312
8/3		6:00	10:00	67	750	33	9/407
8/5		6:00	10:00	64	684	40	8/274
8/6		6:00	9:00	52	1037	62	16/416
8/7		6:00	10:00	59	963	70	16/382
8/11		6:00	10:00	48	1500	80	44/646
8/12		6:00	10:00	71	1551	80+	58/660
8/13		6:00	10:00	47	654	48	20/247
8/14		6:00	10:00	41	860	100+	21/276
		15:15	18:25	22	250	40+	1
8/16		6:00	9:00	27	590	60+	10/121
8/18		6:00	10:00	48	535	70	39/258
8/19		6:00	10:00	74	1345	85	82/528
8/20		6:00	9:00	65	1308	72	77/488
8/23		6:00	10:00	44	730	65	69/278
8/24		6:00	10:00	48	714	70+	71/391
8/26		7:00	10:00	38	603	50	79/315
8/27		5:00	10:00	28	414	42	40/148
8/28		6:00	9:00	20	222	30	42/129
8/29		6:00	10:00	50	882	75	100/397
8/30		6:00	10:00	59	1198	90+	194/674
8/31		6:00	10:00	37	343	48	35/135
9/2		6:00	10:00	19	211	35	14/79
9/3		4:45	8:30	43	619	80+	44/167

幼鳥のデータは、「観察された幼鳥の数/観察したアオバトの数」で表している。

花水川・平塚大橋付近のサギねぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	アマサギ	コサギ	ゴイサギ	ササゴイ	合計
8/1		3	8	2	2	41	17	2	75
8/7		3	20	0	5	50	10	0	88
8/15		1	7	2	10	62	2	0	84
8/21		4	26	10	35	43	20	0	138
8/30		4	20	8	40	154	16	0	242

次回の定例探鳥会は 2006 年 10 月 8 日(日)です。午前 7 時 30 分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第 235 号 / 9 月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>